



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 株式会社 Archaic

【国内初】生成 AI のリスクを補償する「生成 AI 専用保険」の提供開始 ~導入時の不安を解消し、安全・安心な生成 AI の発展に貢献~

2024年2月28日

MS&ADインシュアランス グループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(代表取締役社長:新納 啓介、以下、あいおいニッセイ同和損保)と AI 技術開発をグローバルな体制で実現する株式会社 Archaic(代表取締役社長:横山 淳、以下、Archaic)は、近年急速に利用が拡大している生成 AI の安全・安心な導入・活用の促進、ならびに導入に際して企業が抱える不安を払拭することを目的に、国内初*1となる「生成 AI 専用保険」を共同で開発し、2024年3月から提供を開始します。

※1 2024年2月現在。あいおいニッセイ同和損保調べ

1. 背景

生成 AI は、データの解析と学習を通じて AI が新たなコンテンツを生成する革新的な技術です。2022 年 11 月に米国の OpenAI 社が対話型チャットボット「ChatGPT」を公開したことを契機に一気に注目が集まり、世界中で利用が拡大**2 しています。日本においても大手企業を中心に導入が加速し、生成 AI による社内の業務効率化が進められており、今後はより多くの業界で活用が広がり、新たなイノベーションが生まれることが期待されています。一方、利用にあたっては、権利侵害や情報漏洩、出力結果の正確性等の様々なリスクが存在しており、導入に向けた大きな障壁となっています。

これらの課題を解消し、生成 AI の更なる普及を促進するため、あいおいニッセイ同和損保と Archaic は、あいおいニッセイ同和損保が持つ生成 AI による新たなリスクへの知見と、Archaic が持つ AI の研究・開発や AI システム構築により得た豊富な知見・経験を掛け合わせることで、国内初となる「生成 AI 専用保険」を共同で開発しました。

両社は、あらゆる企業が安全・安心に生成 AI を利用できる環境の構築を目指し、新たなイノベーションの創出に貢献していきます。

※2 出典:株式会社野村総合研究所「生成 AI はビジネスをどう変えるのか」

2. 生成 AI 向け商品の概要

(1) 全体像

「生成 AI 専用保険」は、生成 AI の利用により、知的財産権の侵害や情報漏洩等が発生した際に、企業が負担する様々な費用を補償する商品です。また、事故後の補償に留まらず、Archaic が提供するガバナンス体制の構築支援や事故発生後のコンサルティングサービスをパッケージで提供することで、事故の未然防止や事故後の早期回復の機能を加え、企業の安全・安心な生成 AI の利用を支援します。

回復支援 未然防止 補償 生成AI利用時の 生成AI利用時の 事故発生後の ガバナンス体制構築支援 各種リスクへの補償 対応支援コンサルティング の提供 archaic MS&AD あいおいニッセイ同和損保 インプットデータを 知的財産権侵害 ※今後サービス構築予定 確認・管理する体制 情報漏洩 生成物を事前チェックしてから ハルシネーション 展開する体制

(2)「生成 AI 専用保険」の補償内容

Archaic が開発・構築した生成 AI システム・サービスを導入・利用する企業を対象に、以下のリスクを補償する商品を提供します。

保険契約者/被保険者

保険契約者: Archaic (生成 AI を使用したサービスを開発・提供している企業)

被保険者: Archaic (契約者) が開発した生成 AI を利用する企業

リスク		補償例	
知的財産権侵害		生成 AI を使用し生成した製造物が知的財産権(特許権、商標権、 実用新案権、意匠権、著作権)を侵害したとして、権利者から訴 訟を起こされた場合(国内の訴訟に限定)	
情報漏えい		生成 AI 使用に起因して、自社の機密情報が外部に漏洩し、 そのことが新聞やテレビ等で報道された場合	
ハルシネ ーション	人格権侵害	生成 AI 使用に伴い、口頭、文書、図画その他これらに類する表示	
	名誉棄損	行為による名誉毀き損またはプライバシー侵害、その他不適切な 表現が新聞やテレビ等で報道された場合	
	その他不適切な表現		

対象となる損害

- ①調査費用 (なぜ事故が起こったのか原因分析時に発生する費用)
- ②法律相談費用
- ③再発防止費用(コンサルティング費用等)
- ④記者会見・社告費用
- ⑤被害者への見舞金

3. 今後の展開

あいおいニッセイ同和損保とArchaicは、技術革新が著しいAIや生成AIのリスクを共同で研究し、技術の進化や市場の変化に対応した保険商品・サービスの開発・提供に取り組んでいきます。また、両社が保有する知見・ノウハウの相互利活用などを通じて、CSV×DX(シーエスブイバイディーエックス)**3を実現し、安全・安心な生成AIの普及の支援、ならびに社会・地域課題の解決に貢献していきます。

※3 CSV・・・Creating Shared Value (社会との共通価値の創造)

DX ・・・Digital Transformation (データやデジタルを活用し、価値提供を変革させること)

以上

<各社概要>

○あいおいニッセイ同和損害保険について

『まだ誰も知らない安心を、ともに。』

CSV×DX を通じて、お客さま・地域社会の未来を支えつづける会社を目指してまいります。

会社名	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	
代表者	代表取締役社長 新納 啓介	MCOAD
設立	1918年6月30日	MS&AD
所在地	東京都渋谷区恵比寿 1-28-1	あいおいニッセイ同和損保
URL	https://www.aioinissaydowa.co.jp/	

OArchaic について

ビジネスやプロダクトに合わせた新しい AI アルゴリズムの開発、およびその AI システムの実装を行い、ビジネスを加速させます。

会社名	株式会社 Archaic	
代表者	代表取締役 CEO 横山 淳	
設立	2017年11月15日	archaic
所在地	東京都渋谷区神宮前 1-22-1 オークラビル 5 階	
URL	https://archaic.co.jp/company/	